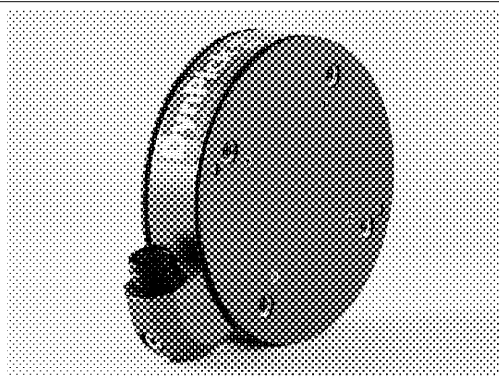


厚さ・重量2分の1

ワコー テック 6軸力覚センサー

ワコーテック（富山県高岡市、岡田和広社長）は、同社従来品に比べて大幅な薄型・軽量化を実現した6軸力覚センサー「WLFシリーズ」を開発し、発売した。検出機構部を最適化することで、センサー全高を20ミリの重量を250gと、どこらも従来比約半分にした。2007年から販売している従来品で多くの実績がある静電容量方式を継承。突発的な過負荷からセンサー故障を予防する独自の「全軸ストッパ」機構も引き続き搭載した。同シリーズの第1弾として「WLF6A500-20-RAD-B」写真」を発売し

同シリーズは、加速センサーやジャイロセンサーと同様の静電容量方式を採用し、主



に垂直多関節ロボット向けに活用されている。同社製6軸力覚センサー「Dyn Pick」の新シリーズとして展開する。今後、薄型・軽容量型力覚

センサーの品ぞろえを拡充し、より使いやすい製品を投入することで市場拡大を狙う。